

ツバキの搾油など体験

瀬戸 自然教室で親子ら130人

瀬戸市の花であるツバキの魅力を知ってもらおうと、瀬戸青年会議所（同市見付町）は十二日、同市凧山町の凧山つばきの森で「自然教室」を開いた。

市内を中心に、幼児から小学六年生までの子どもたちと保護者ら約百二十人が参加した。

ツバキの植林をしては、約二万六千五百平方メートルの搾油を体験している「瀬戸椿の会」と

青年会議所メンバーが案内役となり、スターが「ツバキの木は何本あるか」などとクイズを出題。子どもたちは、三千本が植えてあると知ると、驚いた様子だった。

搾油体験では、ツバキの



ツバキオイルの搾油体験をする子ども＝瀬戸市凧山町の凧山つばきの森で

実を取り出したり、圧縮器で油をしぼり出したりした。教室の最後には記念植樹として、ツバキの木一本と、苗木五十本をつばきの森に植えた。

（村松秀規）